

令和元年度 第3回 大阪府立春日丘高等学校 学校運営協議会（全日制部会）議事録

◇日 時 令和2年2月12日（水）15：00～16：30

◇場 所 校長室

◇出席者 運営協議会委員

下村孝（委員長）、磯村昌宏、岩井真弓、有福利恵、藤岡康治、花崎知則
事務局

福留明富（校長）、宮城良明（事務局長：教頭）、清水紀行、池田隆宏、
大岡成樹、吉新聖二

◇内 容 令和2年度学校経営計画及び令和元年度学校評価について（報告）
学校教育自己診断結果について（報告）

◇協議・意見交換（○：学校運営協議会委員の発言、●：学校教職員の発言）

<学校経営計画及び学校評価の説明を受けて>

○遅刻の回数がすごく減っていると思いますが、これはどういったことが原因でしょうか？

●遅刻常習者が減っていることが大きな原因。また8時30分に門を閉めるのですが、その直前に駆け込みで登校する生徒も減っている。担任の先生の働き掛けも大きい。

○暖冬の影響もあるのかもしれませんが。

○学校経営計画の裏面「今年度の重点目標」の内容が、昨年度と全く同じ文言というのは、重点目標が全く変わらないよりは、何か一つでも新しい項目があっても良いのではないのでしょうか？その方が印象も良くなるような気がします。

●次年度以降検討してみます。

○定時制の学校経営計画の説明を聞くのは初めてです。全日制との違いという点で、具体的な内容を少し説明いただければ、ありがたいのですが。

●やはり、中退生徒が多いので、いかにその数を減らしていくかがポイントです。その中で教員だけでなく、中退防止コーディネーターやSSWとの連携を取りながら、生徒指導を進めているところが、本校定時制の特徴の一つだと考えます。

<学校教育自己診断の結果報告の説明を受けて>

○やるべきだ、ということではありませんが、入学者選抜の成績を紐づけた追跡資料といったものはあるのですか？また説明の中に出てきた生徒の傾向というのは、その成績とのリンクがはっきりしたデータなのか、それとも印象で話されているのでしょうか？

●入学直後に業者の学力到達度テストを受けています。入試とそれを明確に分析してはいませんが、おおむね入学当初の学力との関係は十分考えられると思います。ただ、入学試験の成績は1年次のクラス分けのデータ以外に利用できません。

○大学でもそうですが、入学当初の成績が良くても、成績が下降していく学生もいますし、逆に、入学後に実力を伸ばしている学生もいます。学生の学力の推移と入学時の学力を比較検討することは、色々な事象における対策を検討することに役立つように思います。

○スクールカウンセラーは、誰でも生徒が利用できるのですか？

●本校は学校独自で2人目を配置していますが、それでも予約がいっぱいで、すべての希望を満たすことができないこともあります。生徒によっては、相性の問題もあり必ずうまく対応できるとは限らないのですが、その場合でも生徒の状況を把握できるので、その後の指導に活かしています。

○学校教育自己診断の回答率について、保護者の方の提出率が高まっていますが、教員の提出率が低いことが気になります。提出率が低いと、記述の信ぴょう性も低くなりますから。このことについてどのようにお考えですか。

●保護者については、あくまでアンケートなので絶対提出させるものではありません。しかし担任の先生方の粘り強い指導で、ここまで上昇していると考えています。教員については、やはり提出率を高めないといけないと考えていますので、他校でやっているように、声かけさせていただき、保護者並みの提出率をめざしたいと思います。